

原料費調整制度に基づく都市ガス料金単価の調整について (2026年1月 検針分)

2025年8月 ～ 2025年10月 のLNG及びLPGの貿易統計値が発表されました。
原料費調整制度に基づき、基準単位料金を調整させていただきます。

2026年1月 検針分の単位料金は、2025年12月 検針分 に比べて、1m³(45MJ)当り
▲ 1.11 円(消費税込)、標準家庭(26m³)では月額 ▲ 29 円の調整を行うこととなりました。

●一般ガス供給約款料金における調整単位料金

(消費税込)

	単位	(A) 2025年12月	(B) 2026年1月	(B)-(A)
A料金表 (0m ³ ～24m ³)	円／m ³	257.76	256.65	▲ 1.11
B料金表 (24m ³ を超える)	円／m ³	198.70	197.59	▲ 1.11

●平均原料価格

	単位	2025年7月 ～ 2025年9月	2025年8月 ～ 2025年10月	基準平均原料価格
LNG平均価格 (貿易統計値)	円／トン	84,050	82,880	
LPG平均価格 (貿易統計値)	円／トン	78,890	77,640	
平均原料価格	円／トン	84,150	82,970	46,100

平均原料価格＝LNG平均価格×0.9541＋LPG平均価格×0.0502

(10円未満端数四捨五入)

$$\begin{aligned}
 \text{原料価格変動額} &= \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \quad (\text{平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき}) \\
 &= 82,970 - 46,100 = 36,800 \text{ 円/トン} \\
 &\quad (100円未満端数切捨て)
 \end{aligned}$$

●調整単位料金の算定

平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき

調整単位料金 ＝ 基準単位料金 ＋ 0.084 × 原料価格変動額 ÷ 100円 × (1 + 消費税率) (小数点第3位以下の端数切捨て)

	単位	(A) 基準単位料金	(B) 2026年1月 検針分 調整単位料金	調整額 (B)-(A)
A料金表 (0m ³ ～24m ³)	円／m ³	222.65	256.65	34.00
B料金表 (24m ³ を超える)	円／m ³	163.59	197.59	34.00

●標準家庭のご使用例(1ヶ月分)

1ヶ月分使用量(m ³)	(A) 2025年12月	(B) 2026年1月	影響額 (B)-(A)
26	7,337	7,308	▲ 29

計算式・・・基本料金(税込)＋調整単位料金(税込)×使用量 (1円未満の端数は切り捨て)